

(仮称) 白滝山ウインドファーム更新事業に係る計画段階環境配慮書に係る回答

No.	箇所	意見	回答
1	全般	稼働率と利用率の違いをわかりやすく説明して下さい。	<p>稼働率は、1年間で実際に稼働した時間の比率です。 また、利用率（設備利用率）は、1年間100%の能力で稼働した際に得られる電力量と、実際に発電した電力量の比率です。</p> $\text{稼働率 (\%)} = \frac{\text{年間総稼働時間 (時間)}^{*1}}{\text{年間総発電時間}^{*2}}$ $\text{設備利用率 (\%)} = \frac{\text{年間総発電量 (kWh)}}{\text{(発電機総出力 (kW)} \times 365 \text{ 日} \times 24 \text{ 時間)}}$ <p>*1 : 年間総稼働時間：風力発電機はエラー・定期点検・修理等々で停止します。年間総発電時間からその停止時間計を削除した時間。 *2 : 年間総発電時間：風車台数×365日×24時間</p>
2	全般	事業想定区域がかなり広めに設定されている理由について説明して下さい。	<p>現在、風車の耐風速、乱流に対する安全性等を中心に機種や機器配置を検討しています。したがって、広めに設定しています。</p>

No.	箇所	意見	回答
3	全般	市内の CEF 豊北ウィンドファームや豊浦風力発電所のかなり近くに民家や学校もあるが、低周波音等の被害の認識はないのか、騒音レベルの測定と聞き取り調査を実施して、アセスの参考にする必要があるのはいか。	他事業者については公開されている情報に限界があるため、本事業では今後方法書等の手続きで実施する住民説明会等を活用し、住民意見として頂いた内容を参考としながら、本事業地の周辺民家等に影響がないように、事業計画に反映させてまいります。
4	全般	空中写真では、建設後かなりの年月を経ても、風車位置周辺の地表面が緑化されないままになっているように見えるが、工事終了後、できるだけ緑化することを考えるべきである。	風車位置周辺は、機器管理やメンテナンスヤード等で活用しているため、緑化しておりません。工事計画において可能な範囲で緑化を検討させていただきます。